



2学期が始まりました。 夏から秋へと季節も移って、学習や活動、学校行事にとっても実りの学期です。

9月には陸上競技大会、10月には修学旅行(3年生)・職場体験(2年生)・校外学習(1年生)、11月には学習発表会などが予定されています。

また、生徒会活動や部活動においては、これまで中心となってきた3年生から後輩たちへと引き継がれていきます。

3年生にとっては友達や仲間とともに中学校生活を最高に充実させるとき、2年生は学校の中心的な役割と責任を担い始めるとき、1年生は中学生としての自覚を確かなものにしていくときでもあります。

この実りの秋、生徒それぞれが、勉強や活動に、しっかりと取り組んでくれることを期待しています。



防災の取組について。 8月1日の登校日、岩手県山田町立豊間根(とよまね)中学校から生徒2人と引率の先生1人が本校を訪れ、東日本大震災時の様子を発表してくれました。幸い、豊間根中学校は津波の被害を免れたそうですが、学校が避難所となった実体験について教えてくれました。また、その日の午後、「明日の和歌山市を築くジュニア会議」が開催され、東日本大震災や台風12号被災地の中学生と市内の中学生が、防災について意見を交わしました。そして、本校から参加した生徒会役員2人が、9月3日の2学期始業式で、会議の内容や様子、感想などを全校生徒に話してくれました。

9月4日には、避難訓練を行いました。本校では、火災や地震の場合、原則として運動場へ避難します。さらに、津波の危険がある場合は、校舎3階の体育

館へ避難することになっています。また、状況によっては、和歌山城等の高台へ避難することも考えています。

過日、南海トラフで発生する巨大地震について、最悪の場合を想定した被害予想が発表されました。想定どおりの地震が起こる確率は低いでしょうが、いつか大きな地震が来ることは確かです。自然豊かな日本は、視点を変えれば、自然災害の危険も大いにあるということです。どんなに科学や社会が進んでも、自然の力を軽視せず、しっかりと備えをして、その脅威ともうまくつきあうという感覚が大切ではないでしょうか。生徒には、地震や津波のときは「想定にとらわれない」「最善を尽くす」「率先して逃げる」の3原則を忘れず、自ら行動を起こせる人、落ち着いて行動できる人になろうと話しています。

いじめへの取組について。 昨年10月、大津市であった中学2年生自殺事件に関して、その背景にいじめがあったのではないかという報道がされています。本校では「いじめは、人間として絶対に許されない行為であり、重大な人権問題である」と捉え、「いじめを受けている側に立って、解決していかなければならない」と考えています。教職員は、いじめの未然防止と早期発見に努めています。ご家庭でも日ごろからお子様の様子に心を配っていただき、何かあれば学校に相談していただければと思います。

学校では、生徒向けに、相談ダイヤルを記載したカード「なやんだとき、こまったとき」を、保護者向けに、プリント「いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けて」を配布しています。また、育友会からも「いじめ問題への適切な取組について」が配られました。この機会に、ご一読くださいますよう、お願いします。